※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語読解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　古典探究」（大修館書店） 「精選論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店） 「読解をたいせつにする　体系古典文法　九訂版」（数研出版） 「新版　理解を深める核心古文単語 351」（尚文出版） 「頻度順　入試漢字の総復習　三訂版」　（三省堂） 「イラストとネットワーキングで覚える　現代文単語　改訂版」　（いいずな書店） 「過程の演習　新国語問題集　アシスト第 23 集　古文編」（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・伝統的な言語、文化に対する関心を持ち、古文を学習する意義を考えましょう。
・古文を中心に、より深い文章読解ができるように、授業や予習・復習に力を入れましょう。
・様々な文章を読みながら、多面的な考えに触れ、自身が感じたことや考えたことを、より適切に表現することができるよう、学びを深めましょう。
・読書を通じて、特に著者の思考、表現の工夫について学びましょう。

２　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典作品をより発展的に読解できるようになる。
・言語感覚を磨き、論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・論理的・批判的に考える力、他者との関わりの中での伝える力を高め、自身の思考、判断、表現の幅を広げたり深めたりする。
・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりについて理解し、知識を身につけるとともに、文学作品の読解を通して、文化への理解を深めることができている。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」の領域において、文章の種類を踏まえて、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	枕草子 ［教材］ 二月つごもりごろに	a：本話の登場する人物を確認し、日記的章段の特徴について説明し、理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：平安時代の貴族の文化や教養に漢籍が影響を与えていることを説明し、まとめようとしている。	定期考査	定期考査	課題 ノート 観察
	今昔物語集 ［教材］ 安倍晴明	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：説話、小説、漫画の構成や表現の違いについて調べ、作品ごとの表現の違いに注目し、その特徴についてまとめようとしている。	定期考査	定期考査	課題 ノート 観察
	発見への誘い ［教材］ いつもそばには本があった	a：新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や論理の展開，表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて、「読書」について自分の意見をまとめようとしている。	定期考査	定期考査	課題 ノート 観察
	源氏物語 ［教材］ 薫と宇治の姫君	a：引歌表現や歌ことば・歌の修辞の効果について理解させる。情景と心情に結びつけて考えることができる。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：積極的に作り物語を多面的・多角的な視点から読み、今までの学習を生かして、作品についての理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	課題 ノート 観察
	言葉を再考する	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を	定期考査	定期考査	課題

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 言語と記号	増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c: 具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとしている。			ノート 観察
	大鏡 ［教材］ 花山院の出家 鶯宿梅	a: 叙述のあり方に着目させ、『大鏡』の特徴について理解を深めることができる。 b[読]: 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c: 積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ、今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	課題 ノート 観察
	西鶴諸国ばなし ［教材］ 大晦日は合はぬ算用	a: 時間の経過による言葉の変化や、現代まで続く言語文化に古典が与えた影響について理解し、表現や話の筋に着目することができる。 b[読]: 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c:多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとし、映画や漫画などのポップカルチャーに結びつけて考えようとしている。	定期考査	定期考査	課題 ノート 観察
三学期	曽根崎心中 ［教材］ 道行	a: 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めることができる。 b[読]: 関連する複数の文章に表れているものの見方や考え方を基に、自分のものの見方や考え方を深めようとしている。 c: 浄瑠璃に興味をもち、浄瑠璃に関するものの見方や考え方に親しみ、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。			課題 ノート 観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間